



電子レンジ機能付きオーブン
SO4102M1G / M1B3
取扱説明書

目次

注意事項

1 注意事項

- 1.1 安全に関する注意
- 1.2 本製品について
- 1.3 取扱に関する注意
- 1.4 取扱説明書に関する注意
- 1.5 取扱説明書について
- 1.6 メーカー責任
- 1.7 製品ラベルに関する注意
- 1.8 廃棄に関する注意
- 1.9 エネルギーを節約するには
- 1.10 庫内照明

本製品について

2 本製品について

- 2.1 各部名称
- 2.2 操作パネルについて
- 2.3 その他の部品について
- 2.4 アクセサリーについて
- 2.5 特別アクセサリ（別売）について
- 2.6 電子レンジについて

ご使用について

P3 3 ご使用について

- 3 3.1 初めてお使いになる前に 11
- 6 3.2 電子レンジに適さない素材 11
- 6 3.3 アクセサリーの使い方 12
- 6 3.4 ディスプレイ 13
- 6 3.5 初回使用時 13
- 7 3.6 ご使用方法 14
- 7 3.7 クッキングガイド 21
- 7 3.8 アクセサリーガイド 22
- 7 3.9 特殊機能 22
- 7 3.10 便利な機能 27
- 3.11 設定 27
- 3.12 その他の設定 30

P8

8 お手入れについて

- 8 4 お手入れについて P31
- 9 4.1 本製品のお手入れについて 31
- 9 4.2 蒸気洗浄について 33
- 10 4.3 追加メンテナンス 34
- 10

設置について

5 設置について

- 5.1 電源への接続 35
- 5.2 設置について 35

この度はイタリア SMEG 社製 電子レンジ付きオーブン「SO4102M1G」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。事故や製品の破損を防ぐため、製品の設置時や初めて使用される前に、この取扱説明書を必ずお読みください。読み終わったあとは大切に保管してください。

注意事項

1. 注意事項

1.1 安全に関する注意

怪我や事故を防ぐために、ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みください。

注意：オープン庫内およびオープンのアクセサリ部分は使用中に高温となります。本製品にお子様を近づけないでください。また、本製品の使用中はヒーター部分に絶対に触れないでください。

- 加熱したオープン庫内で食材の出し入れをしたり、棚を調整したりする際は、耐熱性のある鍋つかみをご使用ください。
- 発火した場合、絶対に水で消火しないでください。直ちに本製品の電源を切り、適切な素材で炎を覆って消火してください。

《小さなお子様及び障がいを持つ方への配慮》

- 感電や火傷等の事故防止のため、8歳未満のお子様や身体的障がい・精神的障がい・知的障がい・発達障がい等をお持ちの方による、単独でのご使用はお控えください。お使いになる場合は、安全な使用責任を取る事ができる大人の方が必ず補助を行うようにしてください。
- 本製品でお子様遊びに注意してください。
- 本製品を使用中は、お子様を近づけないようにし、目を離さないようにしてください。火傷やケガのおそれがあるため、本製品で遊ばせたり、操作パネルを押させたりしないでください。
- 梱包材やその一部を放置しないでください。梱包材やビニール袋は窒息の危険があるため、お子様が遊ばないように十分に注意してください。
- お子様に一人で本製品の掃除やお手入れをさせないでください。
- 調理をしている間は、定期的に状態を監視してください。調理時間が短い場合でも、目を離さないでください。
- 油は加熱により発火する危険があります。油を使用した調理中や脂が出る調理中には、この製品から離れないようにしてください。
- 調理直後の熱くなったトレイに直接水をかけないでください。
- 調理中はオープンのドアを閉めてください。

- 加熱したオープン庫内で食材の出し入れをしたり、調理が終了したりした際には、ドアを数秒間 5cm ほど開けて蒸気を放出し、その後完全に開けるようにしてください。
- オープンドアの隙間に金属製のとがった物（ナイフやフォークなど）を挿入しないようにしてください。
- 本製品ご使用後は必ず電源スイッチをお切りください。
- 本製品の近くで可燃物を使用したり、保管したりしないでください。
- 本製品の使用中は、近くでスプレー製品を使用しないでください。
- 本製品の改造は絶対に行わないでください。
- 本製品の設置作業は、必ず専門技術者が行うようにしてください。
- お客様ご自身による本製品の修理は絶対に行わないでください。設置、メンテナンスおよび修理は、必ず専門技術者が行うようにしてください。
- 電源プラグを抜く時は、ケーブルを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードが破損した場合、危険を伴うおそれがあります。直ちに「販売店」または「お客様相談窓口」に連絡し、修理の依頼をしてください。

電子レンジ使用上の注意

警告：ドアまたはドアシール（パッキン）が損傷している場合は、本製品の使用を中止し、直ちに「販売店」または「お客様相談窓口」に連絡し修理の依頼をしてください。

マイクロ波エネルギーにさらされないようドア部に取り付けられた保護カバーの取り外し、またはお客様ご自身による修理は絶対に行わないでください。

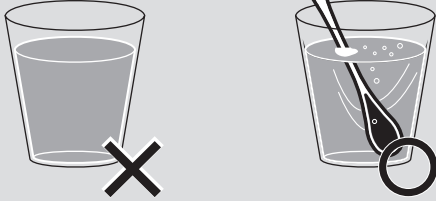
密閉容器での加熱はしないでください。爆発するおそれがあります。

- オープンとのコンビモード使用の際、本製品は非常に高温になります。お子様や、身体的障がい、精神的障がい、知的障がい、発達障がいなどをお持ちの方がご使用になる場合は安全な使用責任を取る事ができる大人の方が必ず補助を行うようにしてください。
- プラスチックまたは紙の容器で食品を温める場合は、本製品から離れないでください。

注意事項



不適切な使用について 爆発の危険



- マイクロ波を使用して液体を加熱または再加熱する場合、通常の泡が形成されずに沸騰温度に達することがあります。

突然爆発したかのように沸騰する現象が起こることがあるため、オープンから容器を取り出す際には十分に注意してください。

これらの危険を避けるために、加熱段階では必ず付属の沸騰ロッド（または耐熱プラスチックスプーン）を容器に加えてください。

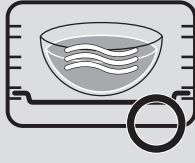
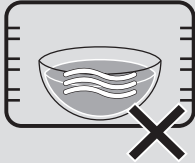
- 電子レンジは、食材や飲料を温める目的でのみ使用してください。その他の用途（衣類の乾燥、湿った布などの温め、食品の脱水や乾燥など）での使用は、火傷や、火災の危険につながる可能性があります。
- 本製品は常に清潔に保ち、食品の残留物を残さないようにしてください。
- オープン庫内のクリーニングを怠ると、機器の寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、火災など危険な状況を引き起こすおそれがあります。
- 電子レンジを使用して油を加熱したり揚げ物をしたりすることは避けてください。
- 本製品でアルコールを含む食品や飲み物を加熱しないでください。
- 殻付きの卵を加熱しないでください。オープンから取り出した後でも、爆発する可能性があります。
- 食品パックに入った食材を加熱しないでください。
- オープンのコンビモードを使用して液体を加熱または沸騰させないでください。

- 乳幼児のミルクや食べ物を加熱した後は必ず混ぜたり振ったりし、熱すぎないかどうかまず温度を確認してください。
- トマト、ソーセージ、ジャガイモ、ナスといった厚い皮のある食品は、破裂するのを防ぐため、何ヶ所かに穴を開けるか切り込みを入れてください。
- 庫内が空のときは、電子レンジ機能を使用しないでください。
- 電子レンジの使用に適した食器や調理器具を使用してください。
- アルミホイルやアルミトレイを使用しないでください。
- 食材や飲料の調理には金属製の容器を使用しないでください。
- 金属装飾（金、銀仕上げ）のある食器は使用しないでください。
- 発火した場合は、水で消火しないでください。直ちに本製品の電源スイッチを切り、ドアを閉めたままにして、火に酸素を供給しないようにしてください。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 本製品は 2.4 GHz の ISM バンドで動作します。
- 本製品は電磁適合性に関する規定に準拠しており、グループ 2 およびクラス B (EN 55011) に属しています。

注意事項



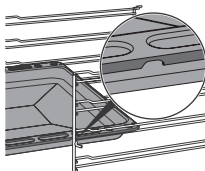
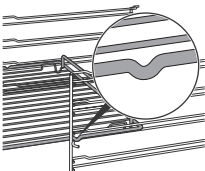
不適切な使用について 本製品を破損する危険



- 電子レンジを使用する際は、食材を直接庫内底部に置かないでください。所定のアクセサリを使用し、レシピに適した棚に設置してください。
- 容器やアクセサリ（ガラストレイやコンビラック）を直接庫内の底面に置かないでください。
- 本製品がキャビネット内に設置されている場合は、キャビネットのドアは開けた状態で作動させてください。

機器を破損する危険

- ガラス部分のお手入れをする際は、研磨剤や粉末洗剤、シミ取り剤、たわし、研磨スポンジなどを使用しないでください。これらはガラスの表面を傷つけるおそれがあります。代わりに木製またはプラスチック製の道具を使用してお手入れを行ってください。
- スチール製や金属の表面仕上げ（アルマイト、ニッケルメッキ、クロムメッキなど）の部分には、塩素、アンモニア、漂白剤を含む掃除用品は使用しないでください。
- ストッパー付きラックとトレイは棚の奥までしっかりと挿入してください。誤ってラックが引き出されないように、必ず安全ストッパーが下向きになるように挿入してください。



- 本製品のお手入れに高圧スチームクリーナーを使用しないでください。
- 本製品の換気口を塞がないでください。
- 火災の危険があるため、オープン庫内に物を入れたままにしないでください。
- お部屋を暖める目的で本製品を使用しないでください。
- 食材の調理にプラスチック製の皿や容器を使用しないでください。
- 密閉された缶や容器をオープンで加熱しないでください。また、これらを庫内に置かないでください。
- 調理中に使用しないすべてのトレイとラックは本製品から取り外してください。
- アルミホイルなどを床面に敷かないでください。熱の蓄積によりオープンが破損するおそれがあります。
- クッキングシートをご使用する場合は、庫内の熱風循環を妨げないようにご注意ください。
- 開いたドアの内側ガラス枠の上にフライパンやトレイを置かないでください。
- 開いたドアに過度の荷重をかけないでください。
- 本製品の上に座らないでください。

設置とメンテナンス

- 本製品は、ボートやキャンピングカーには設置しないでください。
- 本製品を設置の際には、二人以上で作業してください。
- 本製品を設置したり移動したりする際には、ドアをつかまないでください。
- 過熱を防ぐため、本製品の前面に装飾用のドアやパネルを設置しないでください。
- 本製品の設置作業、および修理は、必ず専門技術者が行うようにしてください。
- 電気系統の接続は、必ず資格を有する電気技師が行うようにしてください。
- 本製品は、電気系統の安全基準に従って、接地（アース）接続してください。
- 少なくとも 90℃の温度に耐えられるケーブルを使用してください。
- 端子供給線のネジは、1.5 ～ 2 Nm のトルクで締め付けてください。

注意事項

警告：本製品の設置の際には、電源ケーブルが損傷しないように注意してください。

- 本製品に関する作業（設置、メンテナンス、修理、位置調整、または移動）を行う際には、必ず保護具（PPE）を使用してください。
- 本製品に対して何らかの作業を行う前には、必ず電源スイッチを切ってください。
- プラグまたは固定接続の場合、本製品を設置後は、機器の電源を切断できるようにスイッチを設けてください。
- 設置規則に従い、カテゴリ III の過電圧条件において完全な電気の切断ができるように、電源線に全極回路ブレーカーを取り付けてください。

警告：本製品の庫内灯の交換の際は、必ず電源スイッチを切ってから作業してください。感電のおそれがあります。

- 本製品に使用されている庫内灯は家庭用電化製品用です。家庭用照明として使用しないでください。
- 本製品は、海拔 4,000 メートル以下の場所でご使用いただけます。

1.2 本製品について

- 開いたドアに寄りかかったり、座ったりしないでください。
- ドアに物が挟まっていないことを確認してください。
- 本製品の屋外設置や屋外使用はお控えください。

1.3 取扱に関する注意

本製品は、個人または家庭での使用を目的に設計されています。本来の目的以外での使用は避けてください。本製品は以下の環境でも使用できます。

- ▶ 会社や事務所、店舗などの従業員用として
- ▶ 旅館やホテル、ペンションなどの宿泊施設内
- 本製品には、タイマーや外部リモコン操作機能は備わっていません。
- 本製品の屋外設置や屋外使用はお控えください。

1.4 取扱説明書に関する注意

本取扱説明書は本製品の一部です。本製品を廃棄するまで、大切に保管してください。

- ご使用前に本取扱説明書を注意深くお読みください。
- 本製品は、お客様がお使いになる際には更新版のシステムが搭載されていることがあります。そのような場合には、ディスプレイに表示される内容が必ずしも取扱説明書に記載されている内容と同じでない可能性があることをご理解ください。

1.5 取扱説明書について

本製品をご使用になる際の重要な情報は以下のよう
に分類されています。



警告 / 注意



情報 / アドバイス

注意事項

1.6 メーカー責任

メーカーでは以下に起因する損害について、一切の責任を負いません。

- 本製品の本来の目的とは異なる使用
- 本製品の改造
- 非純正部品の使用
- 安全に関する注意事項の不遵守

1.7 製品ラベルに関する注意

製品ラベルには「製品型番」「電氣的仕様」「シリアル番号」「PSE マーク」「販売元会社名」が記載されています。絶対に剥がさないでください。

1.8 廃棄に関する注意



本製品を廃棄される場合は、お住まいの自治体等のルールに従って適切に処分してください。



感電の危険

- 廃棄の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使わなくなった本製品を他の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。正しい廃棄を行うことで材料のリサイクルや環境保護に貢献できます。
- 本製品の梱包材は、リサイクル可能な非汚染物質を使用しています。



窒息の危険

- 梱包材もしくはその一部を放置しないでください。
- ビニール袋でお子様がお遊ばないよう注意してください。

1.9 エネルギーを節約するには



- レシピにおいて予熱が必要な場合のみ、本製品を予熱してください。予熱段階は、ピザモード（予熱処理を無効にできない）とエコモード（予熱処理を使えない）以外の機能とモードであれば無効にできます。
- 調理中はドアを開けないようにしてください。
- 冷凍食品は解凍してからオープンに入れてください。
- 複数の料理を調理する際には、オープンの持つ余熱を最大限活用するために、食材を連続してオープン内に入れることをお勧めします。
- お菓子（クッキーやペストリー）等を焼く際には、色の濃い金属製の流し型を使用すると、熱を吸収しやすく効率的に調理ができます。
- 調理中、必要のないトレイやラックはすべて取り外してください。
- 通常の調理時間の数分前に調理を停止します。残りの数分間は、余熱により調理が続きます。
- 熱の散失を避けるため、ドアの開放は最小限にしてください。
- オープン庫内は常に清潔に保ってください。

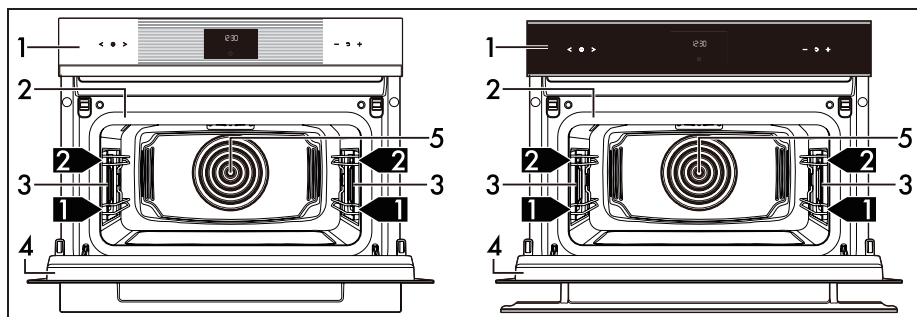
1.10 庫内照明

- 本製品の庫内灯はお客様での交換ができません。交換が必要な場合は、「販売店」もしくは「お客様相談窓口」にご相談ください。
- 本製品で使われている照明は、300℃以上の周囲温度での使用に適したものであり、オープンなどの高温用途を意図して設計されています。

本製品について

2. 本製品について

2.1 各部名称



1. 操作パネル

2. ドアシール (パッキン)

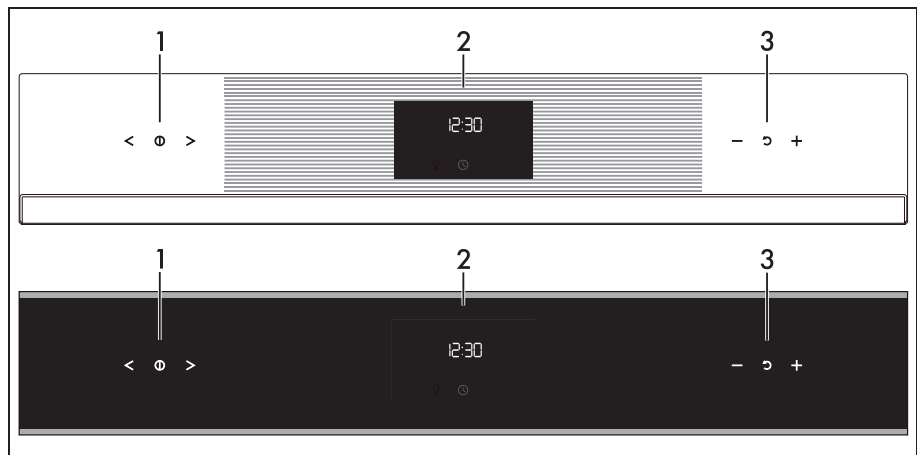
3. オープン庫内照明

4. オープンドア

5. ファン用の給気口

1,2 2つの棚受け位置

2.2 操作パネルについて



1. 機能タッチボタン

機能タッチボタンを使用すると、以下の操作ができます。

- 電源のオン/オフ
- 機能の選択

2. ディスプレイ

現在時刻、選択した調理温度、電源状態、機能、設定した時間を表示します。

3. タッチボタン

タッチボタンを使用すると、以下の操作ができます。

- 調理温度
- 調理時間
- プログラムされた調理サイクル
- 現在時刻
- 機能の一時停止または開始

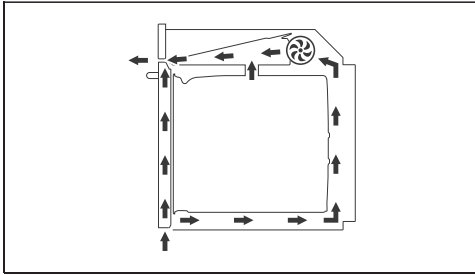
本製品について

2.3 その他の部品について

棚受け

本製品には、トレイとラックをさまざまな高さに配置するための2つの棚受けが備わっています。

冷却ファン



ファンはドアの上方から一定の空気の流れを引き起こし、調理中に本製品を冷却します。本製品の電源スイッチを切った後も短時間作動し続ける場合があります。

庫内照明

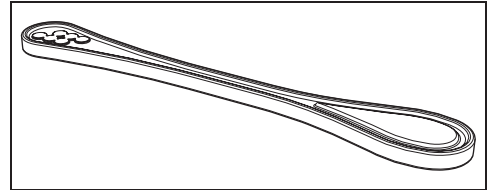
以下の時に、庫内の内部照明が点灯します。

- ドアが開いた時
- ディスプレイ上で  ボタンを押した時
- 調理が開始された時（エコモードと蒸気洗浄を除く）

2.4 アクセサリーについて

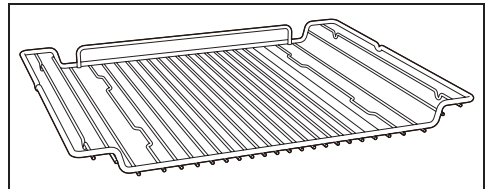
- 食材と接するアクセサリーは、現行の法律に適合した素材で作られています。
- メーカーが推奨する純正アクセサリーのみを使用してください。

沸騰ロッド



飲み物を加熱するときには、容器の中に付属の沸騰ロッドを入れてください。飲み物が均一に加熱されます。

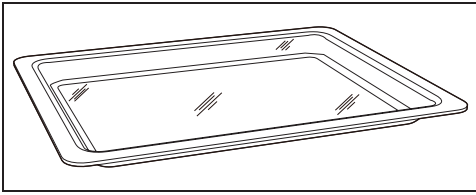
ストッパー付きラック



オープンウェア（焼き型や鍋）を載せるベースとして、また電子レンジモードをご使用の際もお使いください（ガラストレイを内側に入れてもお使いいただけます）。ストッパー付きのラックを使用する場合は、棚の奥までしっかりと挿入してください。ラックには安全ストッパーがあり、上に載せたものを引き出す際に全体がずり落ちることを防止します。

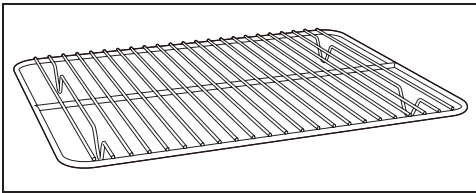
本製品について

ガラストレイ



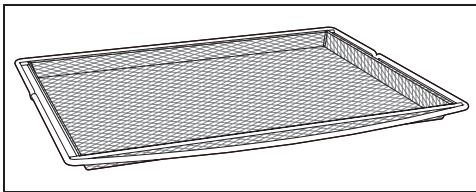
ガラストレイはどの調理モードで使うにも適しています。コンビラックに載せた食材から出る肉汁や脂を集めるにも効果的です。

コンビラック（ガラストレイと併用）



コンビラックは、ガラストレイの内側に入れてご使用ください。

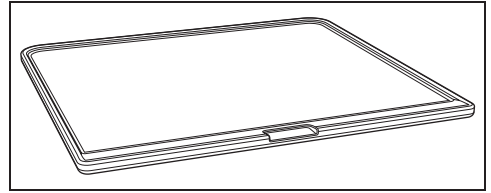
エアフライヤー



唐揚げやフライ料理を手軽に、ヘルシーに、かつ美味しく調理できるだけでなく、冷凍食品やお惣菜の揚げ物をカラッと温め直すのにも最適です。

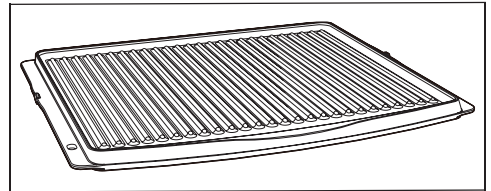
2.5 特別アクセサリー（別売）について

ピザストーン



外側はバリッと香ばしく、中はふっくらとした本格的な石窯ピザや石窯パンを作ることができます。さらにクッキーなども美味しく調理できます。

BBQ パン



ストライプ面は肉料理に最適で、余分な脂を落としながらきれいな焼き目を付けることができます。フラット面は魚介や野菜料理に最適です。

2.6 電子レンジについて

本製品には、マイクロ波を発生するマグネトロンという装置が搭載されています。発生したマイクロ波は均一にオープン内に照射され、食材に到達して加熱されます。食材に含まれる分子、主に水分子の間に摩擦が生じ、その結果として熱が発生します。

食材の内部で直接的に熱が発生するため、従来の調理方法と比較して短時間で解凍、再加熱、調理を行うことができます。マイクロ波調理に適した容器を使用することで、マイクロ波が食材に均一に届くようになります。

ご使用について

3. ご使用について

3.1 初めてお使いになる前に



「安全に関する注意」を参照してください。

- 本製品の外部および内部（アクセサリーを含む）にある保護フィルムを取り除いてください。
- アクセサリーや棚のラベルはきれいに剥がしてください。オープン本体の製品ラベルは剥がさないでください。
- 本製品のアクセサリーをすべて取り外して洗浄してください。

初回加熱時

1. 調理時間を 1 時間以上に設定します。「オープンモード」(P17) を参照してください。
2. 空のオープン庫内を最高温度で加熱し、製造工程で残った残留物を焼いて取り除きます。

本製品を初回加熱する際には、キッチンの換気を十分に行ってください。

3.2 電子レンジに適さない素材

金属はマイクロ波を反射して火花が起こり、火災のおそれがあります。

電子レンジ使用に適さない素材

金属類

- アルミホイル
- アルミ製トレイ
- アルミ皿
- 金属装飾（金銀仕上げ）の食器
- 金属製のカトラリー

木

クリスタルガラス

紙

ポリスチレン容器

メラミン樹脂製容器



金属装飾がある食器はご使用になれません。



電子レンジモードまたはコンビモードではアルミトレイを使用しないでください。

容器の対応テスト



以下の方法で、お使いの容器が電子レンジで安全に使えるかどうかをテストできます。

1. 庫内からすべてのアクセサリーを取り外します。
2. テストする容器を、1 段目に挿入したラックの上に置いてください。
3. 電子レンジモードを選択し、最大出力レベル（例：850W）を選択します。
4. 調理時間を 30 秒に設定します。
5. プログラムを開始します。



破損する危険

- 火花やパチパチ音がする場合は、直ぐに使用を中止してください。このような反応が見られる容器は電子レンジでの使用には適していません。

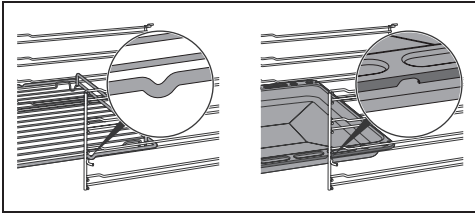
上記テストの終了時は、容器は冷たいままか、わずかに温かい状態になっている必要があります。容器が熱くなる場合は、電子レンジでのご使用はお控えください。

ご使用について

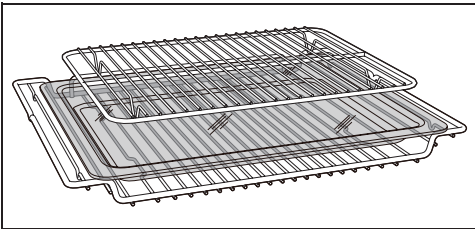
3.3 アクセサリーの使い方

ストッパー付きラックとトレイ

ストッパー付きラックとトレイは棚の奥までしっかりと挿入してください。誤ってラックが引き出されないように、必ず安全ストッパーが下向きになるように挿入してください。



ガラストレイとコンビラック



コンビラックは、ガラストレイの内側に入れてご使用ください。肉汁や脂を落としたいときにも効果的です。

沸騰ロッド



爆発 / 火傷の危険

- 調理器具内での爆発や、液体の突然の沸騰を防ぐために、付属の沸騰ロッドを必ずご使用ください。



破損する危険

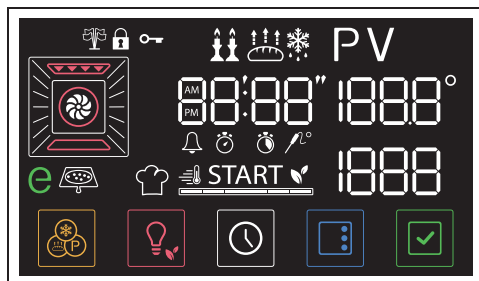
- 沸騰ロッドは、電子レンジモードのみでご使用ください。オープンモードやコンビモードでは使用しないでください。

マイクロ波を使用して液体を加熱または再加熱する場合、通常の泡が形成されずに沸騰温度に達することがあります。突然爆発したかのように沸騰する現象が起こることがあるため、オープンから容器を取り出す際には注意してください。これらの危険を避けるために、加熱段階では必ず付属の沸騰ロッド（または耐熱プラスチックスプーン）を容器に加えてください。



ご使用について

3.4 ディスプレイ

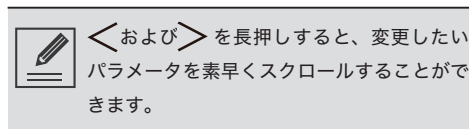


現在選択されている機能に関するパラメータと設定値がディスプレイに表示されます。

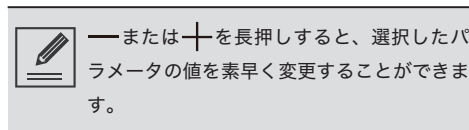
タッチボタン

操作パネルはタッチボタンになっており、使用するアイコンを押すことで操作できます。

- タッチボタン<および>を使うと、ディスプレイ画面内で機能やパラメータ（選択したメニューに応じた時間や温度など）を選択できます。



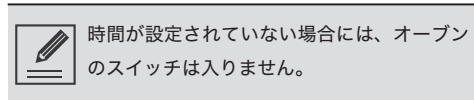
- タッチボタン①を押すと、現在の機能を終了し、ディスプレイの表示が時計画面に戻ります。
- タッチボタン—および+を使うと、選択したパラメータの値を増減させることができます。



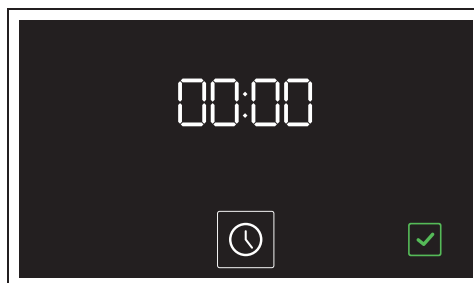
- タッチボタン↺を押すと、選択したパラメータがデフォルト値にリセットされます。

- 目的の値を確定するには、ディスプレイ上の ボタンを押します。

3.5 初回使用時

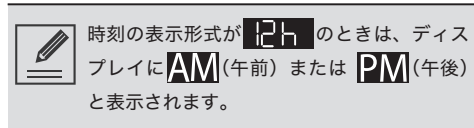


初回使用時または長時間の停電後は、本製品のディスプレイに および ボタンが点滅します。調理機能を開始するには、現在時刻を設定する必要があります。



時刻表示設定

-  ボタンを押します。
- および+タッチボタンを使って、時刻の表示形式を選択します（ または  ）。



-  ボタンを押して時刻の調整に進みます。
- および+タッチボタンを押して、現在時刻（時）を設定します。
-  ボタンを押して現在時刻（時）確定し、（分）の選択に進みます。

ご使用について

6.  および  タッチボタンを押して、現在時刻（分）を調整します。
7.  ボタンを押して確定します。



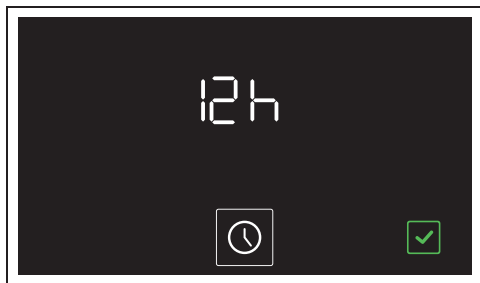
オープン庫内が十分に冷めている場合のみ、ディスプレイは低輝度モードに切替わります。



この操作をキャンセルするには、ディスプレイの  ボタンを数秒間押し続けてください。

時刻の変更

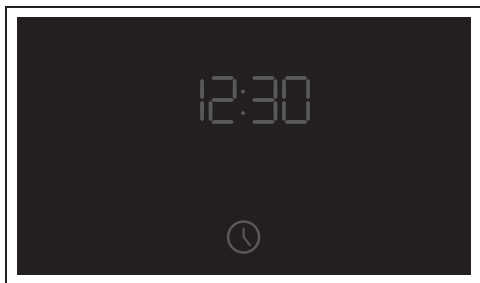
1. メインメニューで  ボタンを数秒間押し続けます。



2. 時刻表示設定の手順2以下と同様にして時刻を変更します。

低輝度表示

何も操作をせずに2分間経過すると、ディスプレイには  ボタンと現在時刻が低輝度で表示されます。このモードでは、操作パネルのタッチボタンは無効になっています（ランプが消え、タッチしても反応しません）。



ディスプレイの再有効化

操作パネルのディスプレイとタッチボタンを有効にするには、以下の操作を行ってください。

- ディスプレイの  ボタンを約1秒間押し続けます。
- ディスプレイが点灯し、操作パネルのタッチボタンが表示されます。

3.6 ご使用方法



「安全に関する注意」を参照してください。

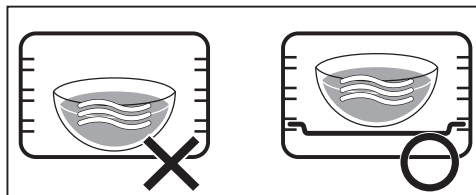
電子レンジ調理



電子レンジは食品の水分を利用して内部から温めるため、長時間煮込むなどの時間と手間を大幅に削減することができます。また、茹でるよりもビタミンCの流失量を少なく抑えることができるのもポイントです。食品の解凍や再加熱にも適しています。



電子レンジを使用する際は、食材を直接庫内底部には置かないでください。レシピに適したアクセサリーを棚にセットしてご使用ください。

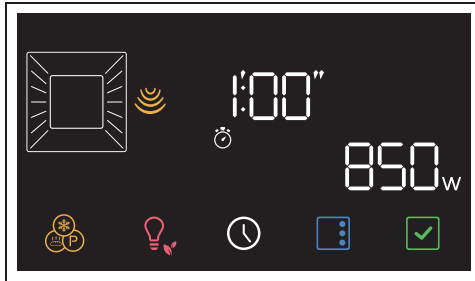


ご使用について



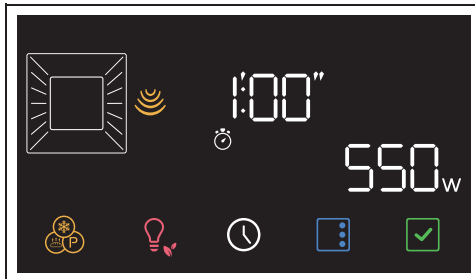
容器やアクセサリ（ガラストレイやコンビラック）を直接庫内の底面に置かないでください。

1. ドアを開きます。
2. 調理する食材をオープン庫内に入れます。
3. ドアを閉めます。
4. 操作パネルの および タッチボタンを押して、電子レンジモード を選択します。



ボタンと **START** の文字が点滅し始めます。

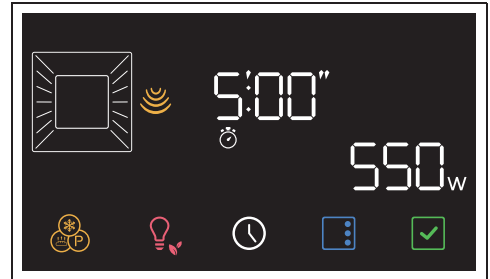
5. 操作パネルの および タッチボタンを押して、加熱出力を 150 W から 850 W の間で設定します（下図の例では“550W”の設定になっています）。



電子レンジの出力については、「電子レンジの出力レベル」の項を参照してください。

6. ボタンを押して確定します。
7. ボタンを押します。ディスプレイの および マークが点滅します。

8. 操作パネルの および タッチボタンを押して、調理時間（5 秒から 1 時間 30 分）を設定します（下図の例では“5 分”の設定になっています）。



9. ボタンを押して調理時間を確定します。
10. ボタンを押して機能を開始します。



ドアが開くと、進行中の機能は中断され、ドアが閉まると自動的に再開されます。

調理が終了すると、ピープ音が鳴り、ディスプレイに **End** と表示されます。

11. 操作パネルの タッチボタンを押して機能を終了します。

電子レンジの出力レベル

選択可能な出力レベルは以下の通りです。

ワット数(W)	適した調理
150	食品の解凍
250	
350	
450	油脂の多い液体の加熱 (バターや生クリームなど)
550	
650	食品の加熱 / 再加熱
750	
850	液体の加熱

ご使用について

レンジコンビモード



レンジコンビモードとは、オープンと電子レンジモードを組み合わせた調理プログラムです。このモードは、電子レンジモードのアイコンとオープンモードのアイコンで示されます。

電子レンジ＋ファン



ファンと電子レンジモードを組み合わせることにより、マイクロ波の作用によって食品の内部を迅速かつ均一に調理することができます。

電子レンジ＋熱風加熱



電子レンジモードと熱風加熱を組み合わせることで、ローストやベーキングした食材に迅速に熱を通すことができます。さらに、調理時間を短縮し消費電力を最小限に抑えることもできるのが特徴です。

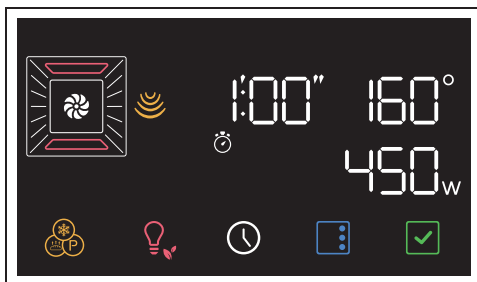
電子レンジ＋グリル



電子レンジモードとグリルモードを組み合わせることで、食品の表面にはきれいな焦げ目がつき、食品の内部も素早く調理することができます。このモードは、表面をしっかりと加熱したり焼き色をつけて仕上げたりする料理に最適です。

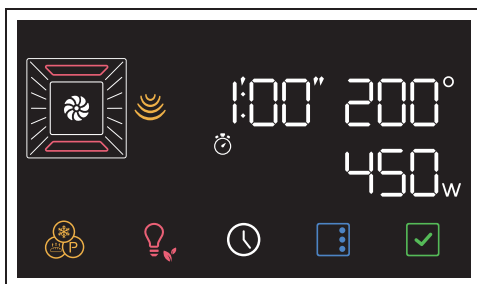
1. 操作パネルの◀および▶タッチボタンを押して、コンビプログラム (例: 電子レンジ＋ファンアシスト)

 +  を選択します。



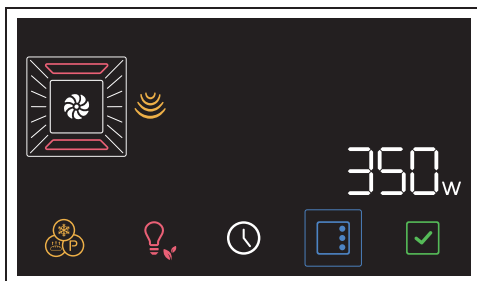
3.  ボタンと **START** の文字が点滅し始めます。

2. 操作パネルの—および+タッチボタンを押して、オープンの加熱温度を設定します (下記の図では“200°C”の設定になっています)。



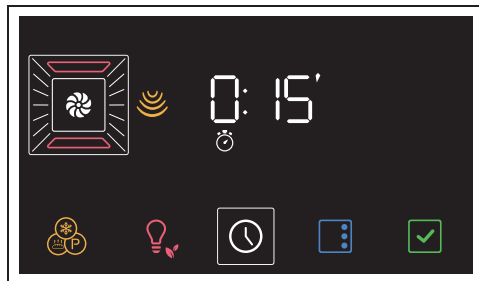
3.  ボタンを押します。

4. 操作パネルの—および+タッチボタンを押して、加熱出力 (150 W から 850 W) を設定します (下図の例では “350 W” の設定になっています)。

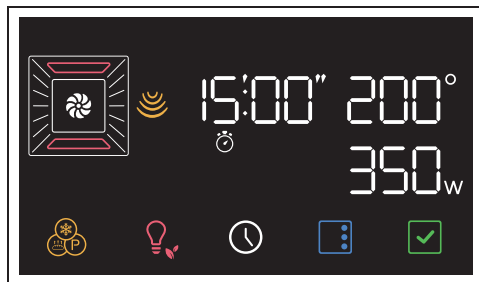


ご使用について

5.  ボタンを押して確定します。
6.  ボタンを押します。
ディスプレイの  および  マークが点滅します。
7. 操作パネルの  および  ボタンを押して、調理時間 (1 分から 13 時間) を設定します (下記の図では "15 分" の設定になっています)。



8.  ボタンを押して調理時間を確定します。



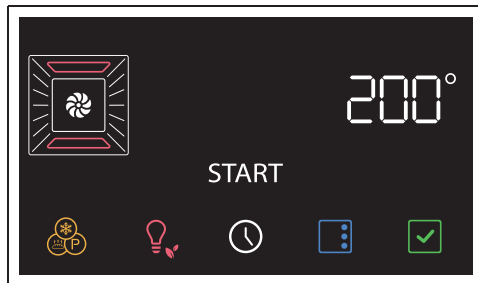
9.  ボタンを押して機能を開始します。
10. 操作パネルの  タッチボタンを押して機能を終了します。

オープンモード



操作パネルの  タッチボタンを押し続けると、いつでも調理を中断することができます。

1. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、オープンモード (例: ファンアシスト ) を選択します。
ディスプレイの  ボタンと **START** の文字が点滅し始めます。
2. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、温度を設定します (下図の例では "200°C" の設定になっています)。



3.  ボタンを押して機能を開始します。



ドアが開くと進行中の機能は中断され、ドアが閉まると自動的に再開されます。

ご使用について

予熱機能

本製品は調理の前に予熱段階があり、すばやく設定温度まで加熱されます。

予熱の間はマークが点灯し予熱段階であることを示します。



 ボタンを数秒間押し続けると、予熱段階をスキップできます。

- 予熱が完了すると、ピープ音が鳴りマークが消灯しボタンと**START**の文字が点滅します。

調理段階

1. ドアを開きます。
2. 調理する食材を庫内に入れます。
3. ドアを閉めます。
4. 定期的に調理状態を確認してください。

調理終了

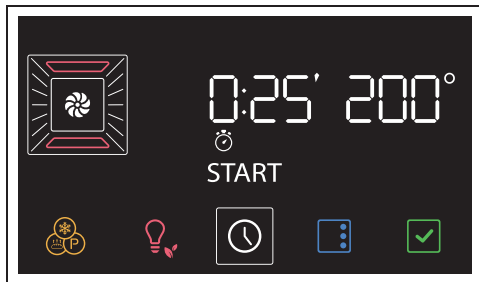
操作パネルのタッチボタンを押して機能を終了します。

タイマー調理



タイマー調理とは、調理を開始後、設定した時間経過後に調理を終了する機能です。

1. 調理モードと温度を選択後にボタンを押すと、ディスプレイのおよびボタンが点滅します。
2. 操作パネルのおよびタッチボタンを押して、調理時間（1分～13時間）を設定します（下図の例では“25分”の設定になっています）。



3. ディスプレイのボタンを押して調理時間を確定します。



調理にかかる時間は、オープンの予熱時間を加える必要があります。

4. ボタンを押して機能を開始します。
5. 予熱完了後、調理する食材をオープン庫内に入れます。

調理の状況は、タイマー表示の値とセグメントバーの表示が徐々に減少することによって確認できます。



6. 調理が終了すると、ピープ音が鳴り、ディスプレイに**End**と表示されます。
7. 操作パネルのタッチボタンを押して機能を終了します。

タイマー調理をキャンセルするには

1. ディスプレイのボタンを数秒間押ししてください。
2. 操作パネルのタッチボタンを押して、調理時間をリセットします。
3. ボタンを押して確定します。

ご使用について

プログラム調理

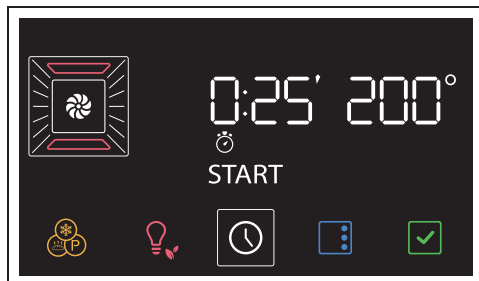


プログラム調理とは、設定した時刻に調理を開始し、設定した時刻に調理を終了する機能です。調理が終了した後は、自動的に本製品のスイッチが切れます。

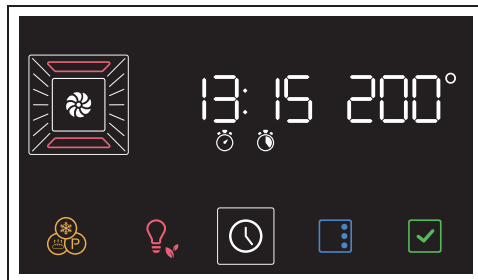


安全上の理由から、調理時間を設定せずに調理終了時刻だけを設定することはできません。

1. 調理機能と温度を選択したら ボタンを押します。ディスプレイの および マークが点滅します。
2. 操作パネルの および タッチボタンを押して、調理時間（1 分～13 時間）を設定します（下図の例では“25 分”の設定になっています）。



3. ボタンを押します。ディスプレイの および マークが点滅します。
4. 操作パネルの および タッチボタンを押して、調理終了時刻を設定します（下図の例では“13 時 15 分”の設定になっています）。



5. ボタンを押して、調理終了時刻を確定します。
6. ボタンを押して機能を開始します。
設定された時刻に調理が開始されます。



予熱に必要な時間は、あらかじめ調理終了時刻に考慮されています。

調理が終了すると、ピープ音が鳴り、ディスプレイに **End** と表示されます。

7. 操作パネルの タッチボタンを押して機能を終了します。

プログラム調理をキャンセルするには

1. ボタンを数秒間押してください。ディスプレイの および マークが点滅します。
2. ボタンを短く押します。ディスプレイの および マークが点滅します。
3. 操作パネルの タッチボタンを押して、調理時間をリセットします。
4. ボタンを押して確定します。



この方法でキャンセルできるのはプログラム調理のみとなります。

ご使用について

オープンモード一覧

スタティック（通常のオープン機能）



上下のヒーターを使用して庫内全体の温度を上げ、食材を熱で均等に加熱する調理機能です。この機能は一品ずつ調理するのに適しており、ロースト、脂身の多い肉、パン、パイなどの料理に最適です。

グリル



上部のヒーターを使用して食材を直接加熱するため、厚みのない肉や魚などのグリル調理に向いています。調理の最後に使用すると、料理に均一な焼き色を付けることができます。

ファンアシスト



ファン機能と通常のオープン機能（スタティック）を組み合わせた調理機能です。この機能を使用することで、強力な熱で均一な調理が可能となります。ビスケット、ケーキ、多段調理などに適しています。

底面加熱



庫内底面から加熱する機能です。ケーキやタルト、パイやビザなどの調理に便利です。

熱風循環



後部の円形型ヒーターにより熱した空気をファンで循環させて食材を加熱する機能です。熱が均一に行き渡り、あらゆる料理に最適です。

エコ



肉、魚、野菜の調理に最適で、シングルシェルフ（一つの棚のみ）で調理すると効果的です。消費電力を抑え、調理時間を短縮するために、オーブンを予熱せずに調理することをお勧めします。



エコモード中はドアを開けないでください。



エコモードでは調理（および予熱）の時間が通常よりも長くなります。調理時間は、食材の種類や量によって異なります。



エコモードは、食材の耐熱温度が210℃未満の場合にお勧めです。それよりも高温で調理する場合は、別のモードを選択してください。

ご使用について

3.7 クッキングガイド

一般

- 調理時間は、食材の種類、形状、大きさ、初期温度などによって多少異なることがあります。
- 温度を上げて調理時間を短縮することはできません（食材の外側が焼けすぎて、内側が生焼けの原因となります）。

肉料理

- ロースト肉を調理する際は、肉用温度計を使用するか、スプーンや手などで軽く肉を押してください。中心が硬くなっていたら焼き上がりですが、柔らかさが残っていた場合は、さらに数分の調理が必要です。

グリルモード

- 肉料理の調理の仕上がり具合を変えたい場合（焼き色をつけるなど）、グリルモードで調理することをお勧めします。
- 食材はトレイの中央に置いてください。
- グリルモードでは、温度を最大に設定することをお勧めします。

お菓子（ビスケットやペストリーなど）

- 色の濃い金属製の流し型を使用すると、熱を吸収しやすく効率的に調理ができます。
- 調理時間は、生地の種類、厚さなどで多少異なります。
- 調理が完了したかどうかを確認するためには、中心に竹串などを刺して抜いてみます。生地が生でなければ焼き上がりです。
- オーブンから取り出した際に型崩れする場合、次の調理では設定温度を約 10°C 程度下げ、必要に応じて調理時間を延長してください。

解凍と発酵

- 冷凍食品はパッケージから取り出して、ふたのない容器に移し、オーブンの 1 段目に置いてください。
- 食材が重ならないようにしてください。
- 肉の解凍には、1 段目にトレイを、2 段目にラックを置いてください。解凍する際に食材から出るドリップをトレイで受けることができます。
- 上手に発酵させるためには、水を入れた容器をオーブンの底に置くと効果的です。

エネルギーを節約するには

- 通常の調理時間の数分前に調理を停止します。残りの数分間は、余熱により調理が続きます。
- 熱の散失を避けるため、ドアの開放は最小限にしてください。
- オーブン庫内は常に清潔に保ってください。

ご使用について

3.8 アクセサリーガイド



焼き型やキャセロール鍋などをオープンウェアのベースとしてご使用いただく場合、グリルモード  での使用がお勧めです。

多段調理の場合は、ラックの間隔を開けて配置し、熱風循環モード  を使用してください。



ストッパー付きラックに載せて使用してください。

電子レンジ調理と電子レンジコンビ調理に適しています。



コンビラックは、ガラストレイの内側に入れてご使用ください。肉汁や脂を落としたいときにも効果的です。

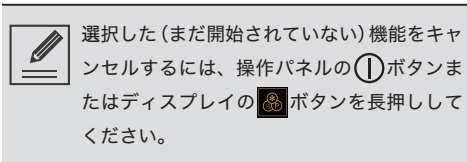
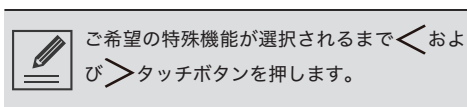


唐揚げやフライ料理を手軽に、ヘルシーに、かつ美味しく調理できます。

冷凍食品やお惣菜の揚げ物をカラッと温め直すのにも最適です。

3.9 特殊機能

ディスプレイ上で  ボタンを押します。



解凍モード



この機能は、選択した時間で食材を解凍することができます。

1. 特殊機能メニューから  機能が選択されるまで、操作パネルの  および  タッチボタンを押してください。



庫内の温度が高い場合、この機能は作動せず  ボタンを押すたびに ビープ音が鳴ります。機能を作動させる前に、庫内を十分に冷ましてください。

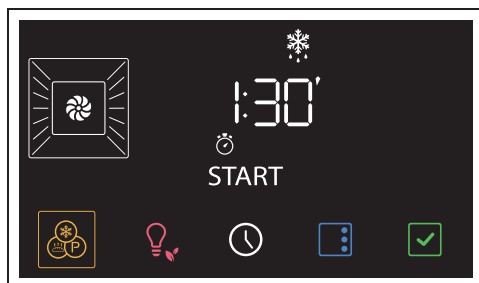
ご使用について

2. ドアを開きます。
3. 解凍する食材をオープン庫内に入れます。



解凍する食材を一番下の段に置くことをお勧めします。

4. ドアを閉めます。
5.  ボタンを押して確定します。
6. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、解凍時間（1 分～30 分まで）を設定します（下図の例では“1 分 30 秒”の設定になっています）。



7.  ボタンを押して機能を開始します。
解凍が終了すると **End** が表示されて点滅し、ピープ音が鳴ります。
8. 操作パネルの  タッチボタンを押して機能を終了します。
9. 以下は、食材の種類別の解凍時間の目安です。

種類	重量 (kg)	時間
肉	0.4	23 分
魚	0.5	10 分
パン	0.3	15 分
デザート	1.0	2 分

発酵モード



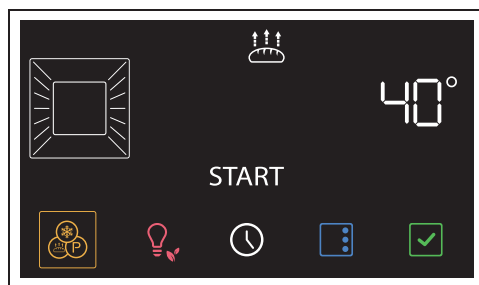
この機能は特にパンやお菓子の生地を発酵に最適です。

1. 特殊機能メニューから  機能が選択されるまで  および  タッチボタンを押してください。



庫内の温度が高い場合、この機能は作動せず
 ボタンを押すたびに ピープ音が鳴ります。機能を作動させる前に、庫内を十分に冷ましてください。

2. ドアを開きます。
3. 発酵させる生地をオープン庫内の下から 2 段目に入れます。
4. ドアを閉めます。
5.  ボタンを押して確定します。
6. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、温度（25℃～40℃）を設定します（下図の例では“40℃”の設定になっています）。



7.  ボタンを押して機能を開始します。
8. 操作パネルの  タッチボタンを押して機能を終了します。



うまく発酵させるためには、水を入れた容器をオープンの底に置くくと効果的です。

ご使用について

安息日モード



この機能は、ユダヤ教の聖なる休日である安息日に対応するために特別に設計されています。

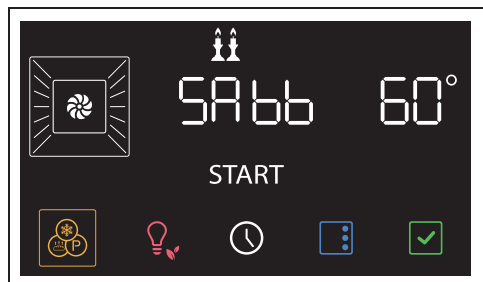
安息日法の要件に合わせて作られており、安息日モードでは特定の機能が無効になります。

- タイマー設定は無効となります。
- 選択できる調理温度は 60 ～ 150 °C です。
- 庫内照明が無効となります。
(ドアを開けたり、手動で操作を行っても、庫内照明は点灯しません)
- ファンは無効となります。
- タッチボタンとピープ音も無効となります。



安息日モードを有効にした後は、設定を変更することはできません。

1. 特殊機能メニューから 機能が選択されるまで、操作パネルの および タッチボタンを押してください。
2. ボタンを押して確定します。
3. 操作パネルの および タッチボタンを押して、温度を設定します (下図の例では "60°C" の設定になっています)。



4. ボタンを押して機能を開始します。
5. 機能を終了するには、ディスプレイの ボタンを数秒間押してください。

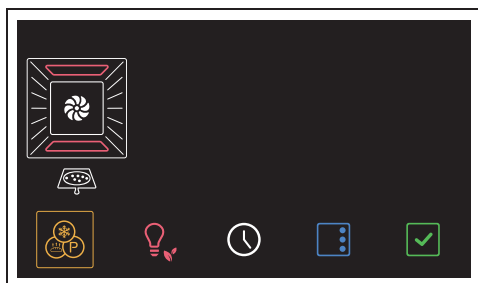
6. 操作パネルが再び使用できるようになったら タッチボタンを押して機能を終了します。

ピザモード

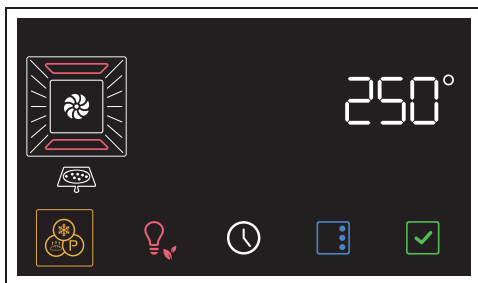


ピザ調理用に設計された機能です。ピザだけでなく、クッキーやケーキなどの焼き菓子全般の調理にも最適です。

1. 特殊機能メニューに入った後、 機能が選択されるまで、操作パネルの および タッチボタンを押してください。



2. ボタンを押して確定します。
3. 操作パネルの および タッチボタンを押して必要な温度を選択します (50°Cから 250°C)。



4. ボタンを押して機能を開始します。



ピザモードでは、予熱をスキップすることはできません。

ご使用について

5. 予熱完了後、ドアを開け、調理する食材をオープン庫内に入れます。
6. ドアを閉めます。
7. 調理終了後、操作パネルの①タッチボタンを押して機能を終了します。

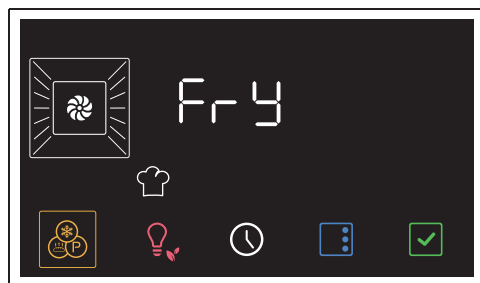
エアフライモード



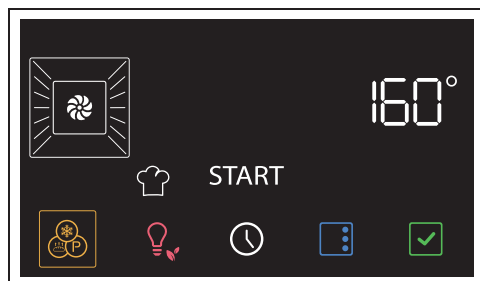
油を使わずに揚げ物が調理できます。

※アクセサリーのエアフライヤーをご利用ください。唐揚げやフライ料理を油を使わず美味しく調理することができます。余分な油が落ちるため、よりヘルシーな仕上がりになります。

1. 特殊機能メニューから **FrY** 機能が選択されるまで、操作パネルの **<および>** タッチボタンを押してください。



2. **✓** ボタンを押して確定します。
3. 操作パネルの **—** および **+** タッチボタンを押して、温度（50℃～250℃）を設定します（下図の例では“160℃”の設定になっています）。



4. **✓** ボタンを押して機能を開始します。



通常の調理機能と同様、予熱をスキップしてタイマー調理やプログラム調理を設定することもできます。

5. 予熱完了後、調理する食材をオープン庫内に入れます。
6. ドアを閉めます。
7. 調理終了後、操作パネルの①タッチボタンを押して機能を終了します。

石窯モード



ピザやパンを作る際に便利です。

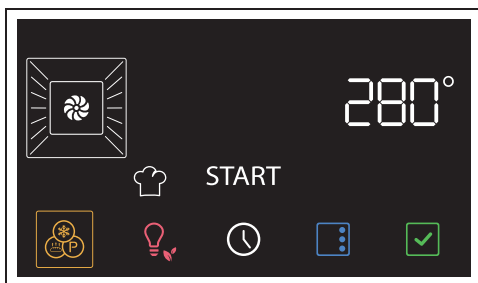
※別売のピザストーンをご使用いただくと、さらに美味しく調理できます。

1. 特殊機能メニューから **StOn** 機能が選択されるまで、操作パネルの **<および>** タッチボタンを押してください。

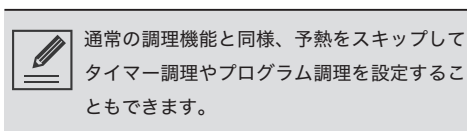


ご使用について

2.  ボタンを押して確定します。
3. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、温度（50℃～280℃）を設定します（下図の例では“280℃”の設定になっています）。



4.  ボタンを押して機能を開始します。



5. 予熱完了後、調理する食材をオープン庫内に入れます。
6. ドアを閉めます。
7. 調理終了後、操作パネルの  タッチボタンを押して機能を終了します。

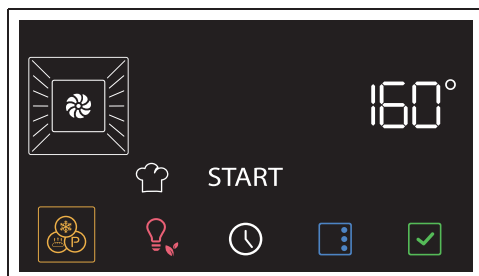
BBQ（バーベキュー）モード

 バーベキュー調理に便利です。
※別売りの BBQ パンをご使用いただくと、さらに美味しく調理できます。

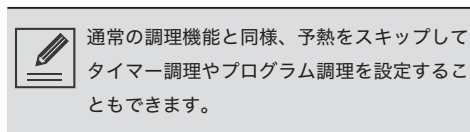
1. 特殊機能メニューから  機能が選択されるまで、操作パネルの  および  タッチボタンを押してください。



2.  ボタンを押して確定します。
3. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、温度（50℃～250℃）を設定します（下図の例では“160℃”の設定になっています）。



4.  ボタンを押して機能を開始します。



5. 予熱完了後、調理する食材をオープン庫内に入れます。
6. ドアを閉めます。
7. 調理終了後、操作パネルの  タッチボタンを押して機能を終了します。

ご使用について

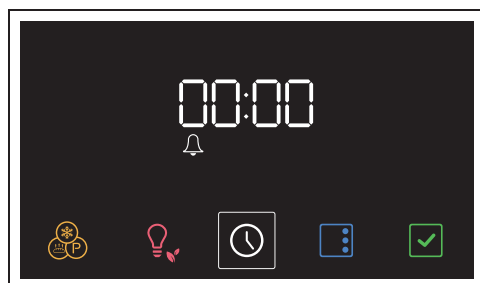
3.10 便利な機能

お知らせタイマー



お知らせタイマーは、設定した分数が経過したことをお知らせする機能です。

1. ボタンを押します。
ディスプレイに と表示され、 マークが点滅します。



2. 操作パネルの および タッチボタンを押して、お知らせタイマーの時間（1 分～13 時間）を設定します。
3. ボタンを押して確定します。
4. 設定した時間が経過すると、ピープ音が鳴り、ディスプレイの マークが点滅します。
5. ボタンを押して機能を終了します。

3.11 設定

- メインメニューで ボタンを押します。



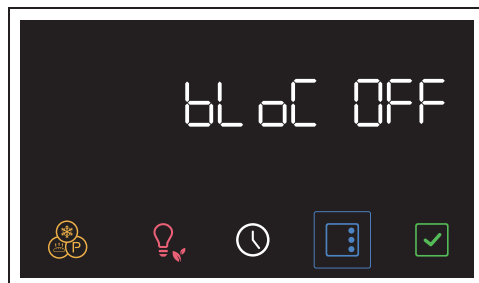
設定メニューを終了するには ボタンを数秒間押し続けてください。

コントロールロック

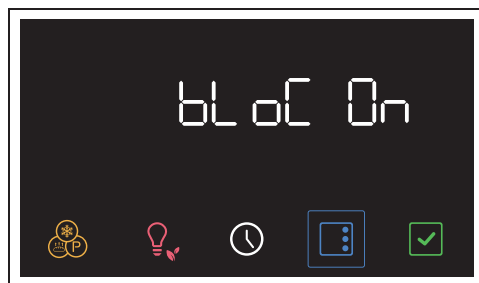


このモードは、通常の機能開始後 2 分で自動的にコントロールをロックする機能です。

1. 設定メニューからコントロールロック機能が選択されるまで、操作パネルの および タッチボタンを押してください。



2. 操作パネルの および タッチボタンを押して、コントロールロック機能を開始します。



3. ボタンを押して確定します。

ご使用について



コントロールロック時には  マークが点灯します。



ロック時はディスプレイまたは操作パネルのボタンに触れると、**Lock** がディスプレイに 2 秒間表示されます。

一時的にロックを解除するには

1. 調理中にディスプレイのボタンを押します。



2. ディスプレイに「Lock On」と表示されたら  ボタンを数秒間押します。

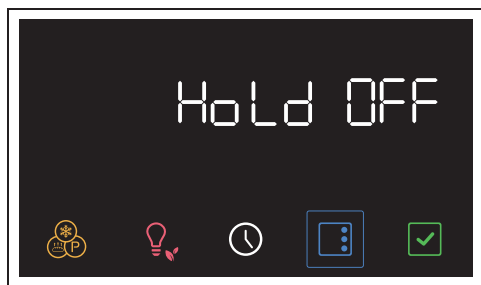
最後の設定から 2 分経過すると、再びロックが有効になります。

保温モード

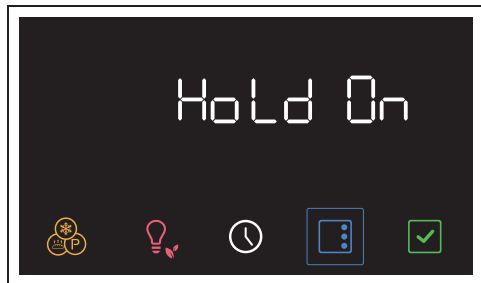


このモードは、調理終了後（手動で調理を中断した場合を除く）調理した食材を保温することで、味や香りを保つことができます。

1. 設定メニューから保温機能が選択されるまで、操作パネルの  および  タッチボタンを押してください。



2. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、保温機能を開始します。



3.  ボタンを押して確定します。



通常使用するときには、この機能をオフにしてください。

ご使用について

ディスプレイの明るさ



ディスプレイの明るさを調節することができます。

1. 設定メニューからディスプレイの明るさ設定機能が選択されるまで、操作パネルの◀および▶タッチボタンを押してください。



2. 操作パネルの—および+タッチボタンを押して、値1（低輝度）から値5（高輝度）の中から輝度を選択します。
3. [✓]ボタンを押して確定します。



ディスプレイの明るさは、工場出荷時は「高輝度」に設定されています。

サウンド



ディスプレイのアイコンが押されると、本製品はピープ音が鳴ります。この設定は、この音を有効または無効に変更できます。

1. 設定メニューからサウンド機能が選択されるまで、操作パネルの◀および▶タッチボタンを押してください。



2. 操作パネルの—および+タッチボタンを押して、ディスプレイのアイコンをタッチしたときの音を有効または無効に変更します。



3. [✓]ボタンを押して確定します。

ご使用について

ショールームモード



通常、お客様がご使用することはございません。



このモードは、操作パネルのみが機能し、本製品の全ての加熱機能が無効になります。



ショールーム機能が有効なときには、ディスプレイの  マークが点灯します。



本製品を通常使用するときは、この機能をオフにしてください。

3.12 その他の設定

エコライト



省エネのため、調理開始後またはドアを開けてから約 1 分後に、オープン庫内の照明は自動的に消灯します。



自動消灯しないようにするには、このモードをオフに設定します。



エコライト機能は工場出荷時にオンに設定されています。

- エコライト機能を無効にするには  ボタンを長押しします。
- エコライト機能を再び有効にするには  ボタンを長押しします。

お手入れについて

4. お手入れについて

4.1 本製品のお手入れについて



「安全に関する注意」を参照してください。

本製品のお手入れについて

本製品をきれいな状態に保つために、ご使用後は本製品が完全に冷めてから表面の汚れを拭き取ってください。

庫内のお手入れを行う前に、取り外し可能なすべてのパーツを取り出してください。

研磨剤入りの洗剤や塩素系の洗剤は使用しないでください。

頑固な汚れは、湿らせた布に中性洗剤を含ませて拭き取ってください。その後、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

食材のこびり付きや残留物の清掃について

スチール性たわしや鋭利な金属へらなどは使用しないでください。表面を傷つけるおそれがあります。

必要に応じて、木製またはプラスチック製の道具を使用し、中性洗剤で汚れを落とし、よくすすいでください。その後、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。

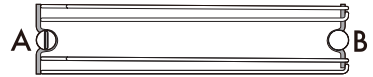
糖分の多い食材（ジャムなど）のこびり付きや残留物を庫内に放置しないでください。庫内のエナメル質を損傷するおそれがあります。



オープン専用クリーナーを使用する場合は、残留物を除去するために、本製品を最高温度で約 15 ～ 20 分間稼働させることをお勧めします。

棚受けの取り外し

棚受けを取り外すことで、庫内の両サイドをより簡単に清掃することができます。

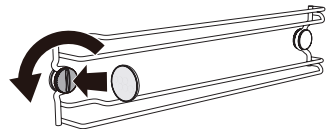


A = フロントハウジング

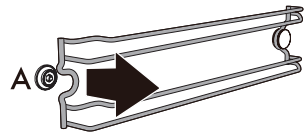
B = リアピン

棚受けを取り外すには、

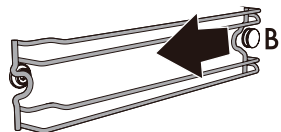
1. オープン庫内の開口部付近の側壁にある前部の固定ピンのネジを緩めます（コインまたは工具を使用すると便利です）。



2. 棚受けを慎重にオープン庫内方向に引き、フロントハウジング (A) から外します。



3. 側壁下部にあるリアピン (B) から棚受けを取り外します。

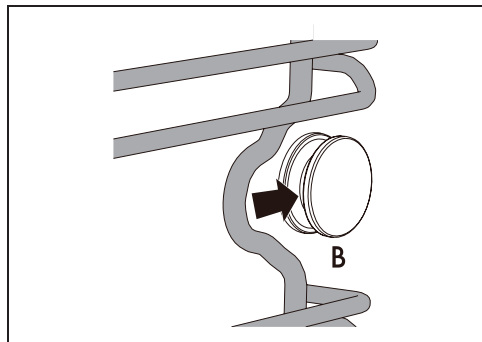


お手入れについて

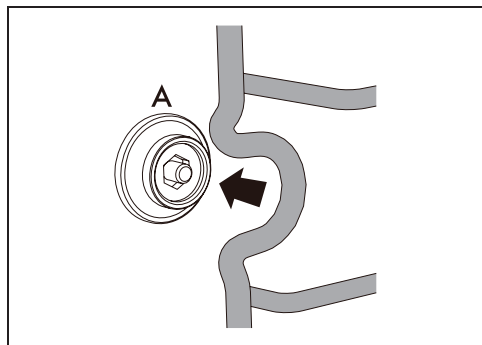
4. 反対側の側壁に取り付けられた棚受けに対しても同じように行ってください。

棚受けを再び取り付けるには、

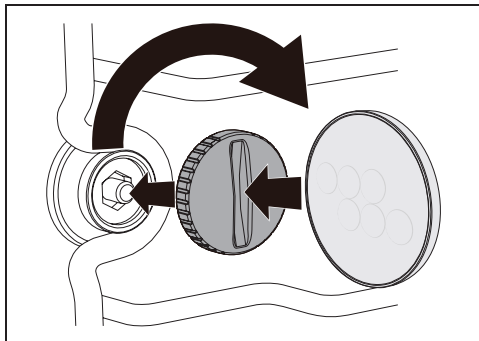
1. 棚受けの後部をスライドさせて、側壁下部のリアピン (B) にはめ込みます。



2. 棚受けの前部を、オープン庫内の開口部付近の側壁にあるハウジング (A) にはめ込みます。



3. 前部のネジを締めます (コインまたは工具を使用すると便利です)。



4. 反対側の側壁に取り付けられた棚受けに対しても同じように行ってください。

お手入れについて

4.2 蒸気洗浄について



「安全に関する注意」を参照してください。



蒸気洗浄は、汚れを簡単に除去するアシストクリーニング機能です。こびり付きや残留物を熱と水蒸気により柔らかくし、お手入れをしやすいします。

予備操作

蒸気洗浄を始める前に

- オープン内の全てのアクセサリーを取り除いてください。
- オープンの底に約 120cc の水を注いでください。オープンから水が流れ出ないように注意してください。
- スプレーノズルを使用して、水と洗浄液が入った液体を庫内の上部や側面などに均等に吹きかけてください。



20 回ほど吹きかけると効果的です。

- オープンのドアを閉めます。

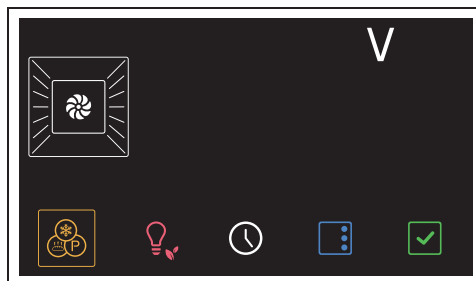
蒸気洗浄の設定について



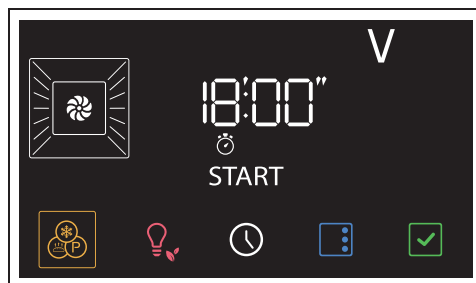
庫内の温度が高い場合、蒸気洗浄機能は作動せず  ボタンを押すたびにピープ音が鳴ります。蒸気洗浄プログラムを始める前に、庫内を十分に冷ましてください。

ディスプレイ上で  ボタンを押します。

1. 特殊機能メニューから  機能が選択されるまで、操作パネルの  および  タッチボタンを押してください。



2.  ボタンを押して確定します。



3.  ボタンを押して機能を開始します。



時間と温度の設定は変更できません。

蒸気洗浄機能の終了

1. 蒸気洗浄が終了すると  が表示されて点滅し、ピープ音が鳴ります。
2. 操作パネルの  タッチボタンを押して機能を終了します。
3. ドアを開けて、柔らかい布で汚れを拭き取ります。
4. 頑固な汚れには、傷をつけないスポンジを使用してください。
5. 頑固なこびり付きや油が残っている場合、オープン専用クリーナーを使用し汚れを落としてください。

お手入れについて

6. オーブンから水気を拭き取ってください。
7. アクセサリーを元に戻してください。



衛生状態を高め、食材に不快な臭いがつくのを防ぐためには、ファンアシスト機能を使用してオーブンを 160°C で 10 分ほど乾燥させることをお勧めします。



これらの作業にはゴム手袋を着用することをお勧めします。



ドアを取り外すことで、手が届きにくい部分を簡単に清掃することが可能です。

蒸気洗浄の予約について

通常の調理モードと同様に、蒸気洗浄モードの開始時間を設定することができます。

1. 蒸気洗浄を選択したら  ボタンを押します。
ディスプレイの  および  マークが点滅します。
2. 操作パネルの  および  タッチボタンを押して、開始時間を設定します。
3.  ボタンを押して確定します。

4.3 追加メンテナンス

シール（パッキン部）のメンテナンス

シール（パッキン部）は柔らかく、きれいに保つ必要があります。

- シール（パッキン部）をきれいに保つには、研磨剤の入っていないスポンジを使用してぬるま湯で洗ってください。

設置について

5. 設置について

5.1 電源への接続



「安全に関する注意」を参照してください。

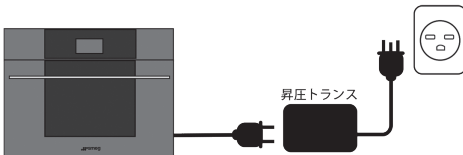
- ・ 本製品の主要な仕様に関しては製品ラベルに記載されておりますのでご確認ください。
- ・ 「製品型番」、「電氣的仕様」、「シリアル番号」、「PSEマーク」、「販売元会社名」などが記載された製品ラベルが、オープン庫内前部に貼られています。この製品ラベルは絶対に剥がさないでください。
- ・ 設置規則に従って、カテゴリ III の通電圧条件において完全な電気の切断ができるように、電源線に全極回路ブレーカーを取り付けてください。

電源接続（昇圧トランス接続）

1. 製品の電源コードをトランスに接続します。
※トランスの差込口に製品のプラグを差し込みます。
2. トランスの電源コードを家庭用 200V のコンセントに接続します。(单相 200V/15A 接地極付コンセント)

電源プラグとコンセントが同じタイプであることを確認してください。

アダプター、電源タップ、延長コードの使用はお控えください。加熱・発火のおそれがあります。

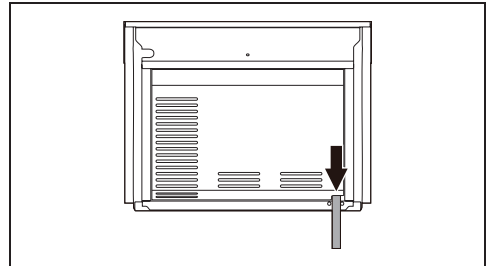


5.2 設置について



「安全に関する注意」を参照してください。

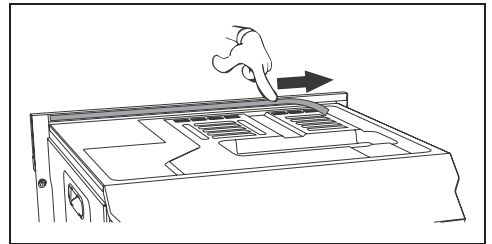
電源コードの位置



前面パネル用パッキン

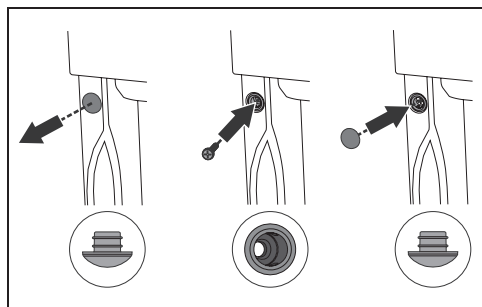
前面パネルの裏面に付属のパッキンを貼り付けてください。

水やその他の液体の浸入を防ぐことができます。



設置について

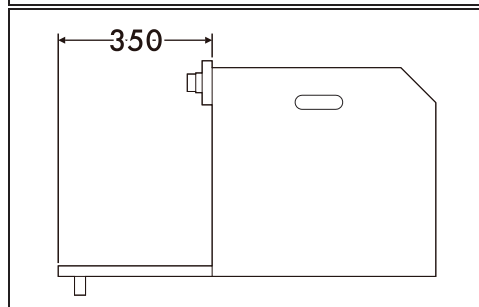
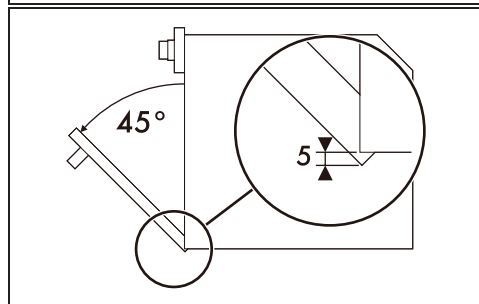
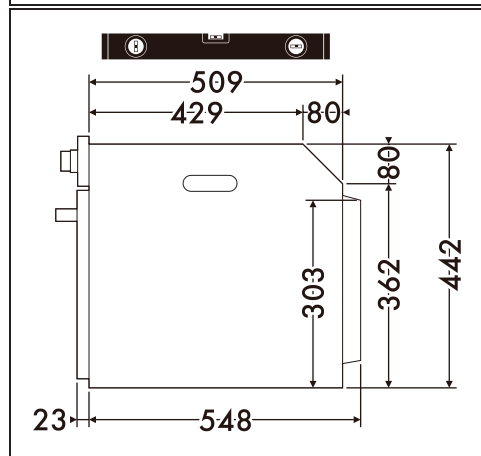
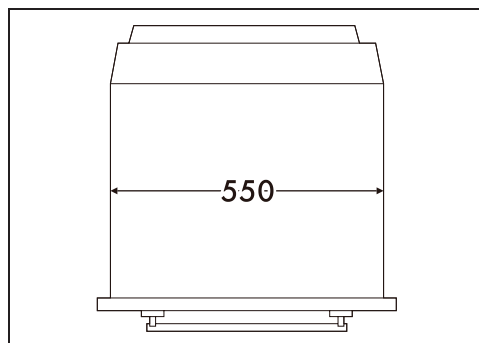
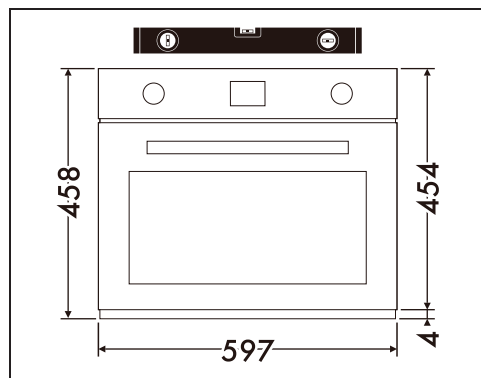
ブッシュカバーについて



1. 本製品の前面に挿入されているブッシュカバーを取り外します。
2. 本製品をキャビネットに設置してください。
3. ネジを使用して、本製品を固定してください。
4. ブッシュカバーでネジを覆ってください。

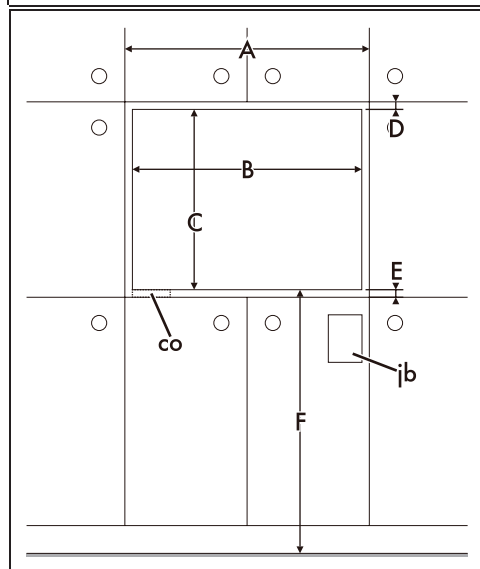
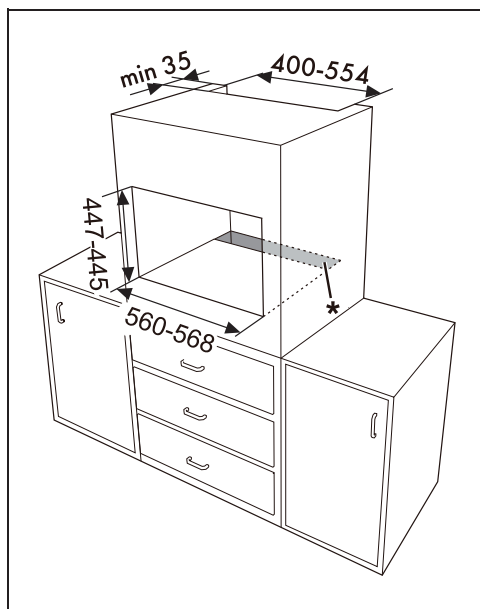
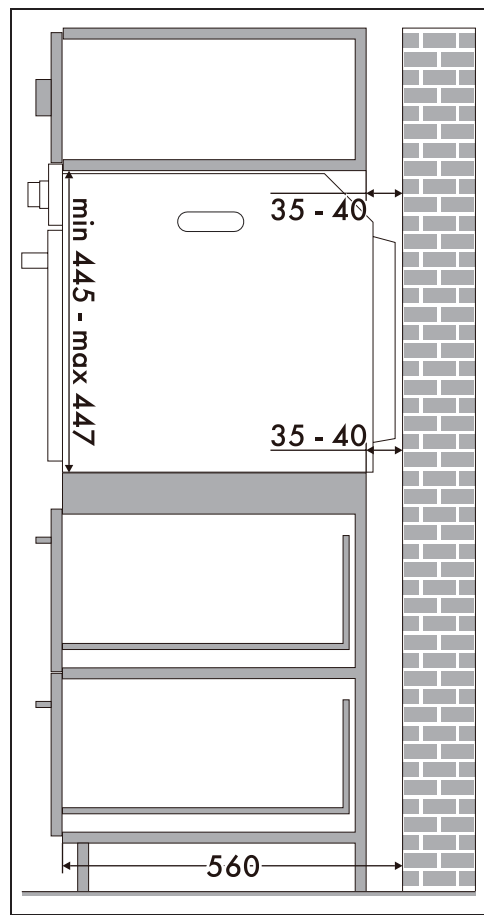
設置について

本製品全体サイズ (mm)

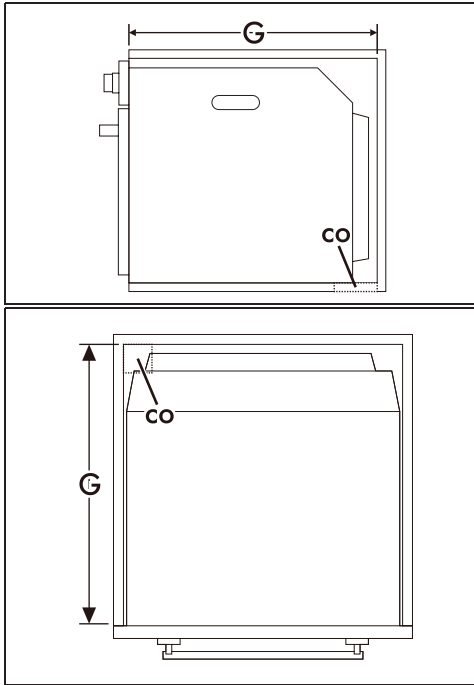


設置について

作り付けキッチン家具への取り付け (mm)



設置について



*家具の上部 / 背面部に約 35 ~ 45 mm の深さの開口部があることを確認してください。

A 最小 603 mm

B 560 ~ 568 mm

C 445 ~ 447 mm

D 9 ~ 11 mm

E 最小 5 mm

F 259 ~ 1105 mm

G 最小 560 mm

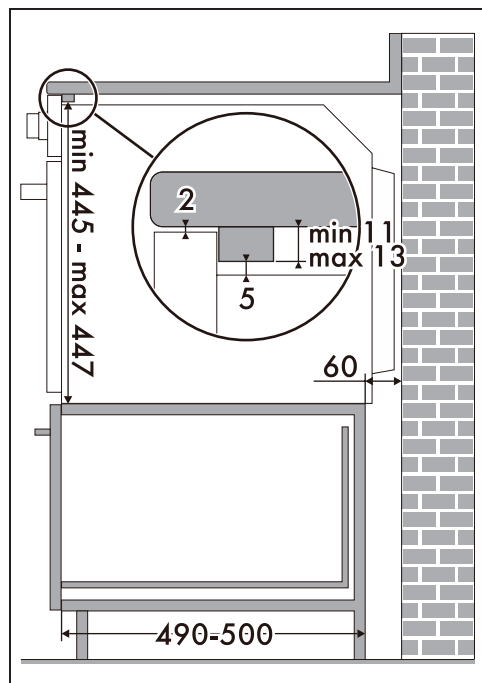
H 最小 458 mm

co 電源コード用切り欠き部 (最小 6cm)

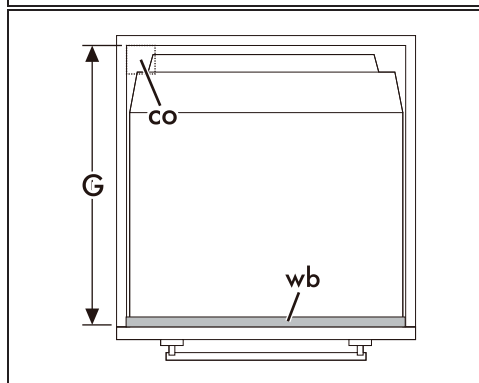
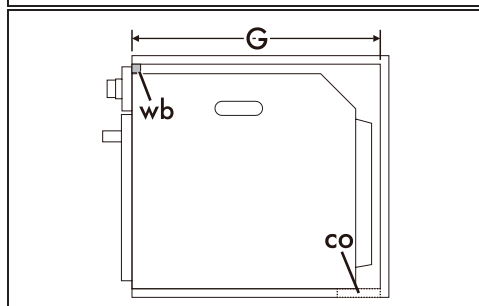
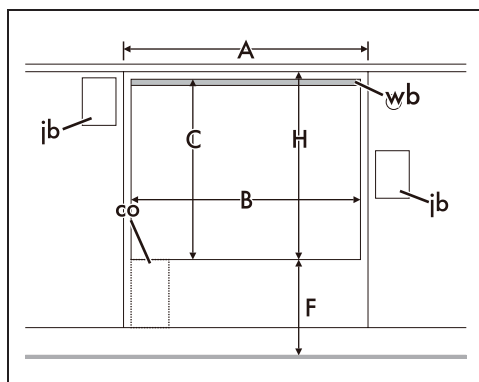
jb 電気接続ボックス

設置について

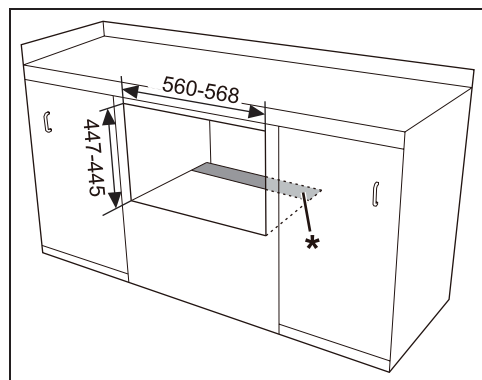
調理台の下への取り付け (mm)



*家具の上部 / 背面部に約 60mm の深さの開口部があることを確認してください。



本製品を調理台の下に組み込む場合は、前面パネルの裏側に接着されたシール部を使って水や他の液体が漏れないようにするために、木製バーを取り付ける必要があります。



設置について

A	最小 603 mm
B	560 ～ 568 mm
C	445 ～ 447 mm
D	9 ～ 11 mm
E	最小 5 mm
F	259 ～ 1105 mm
G	最小 560 mm
H	最小 458 mm
co	電源コード用切り欠き部（最小 6cm）
jb	電気接続ボックス
wb	木製バー（推奨）

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- 電気コードや差し込みプラグが異常に熱くなる。
- 食品が加熱されないことがある。
- 加熱が止まらないことがある。
- 運転中に異常な音がする。
- 異常な臭いがしたり煙が出たりする。
- 機器に触るとピリピリと電気を感ずることがある。
- その他の異常や故障がある。



使用を中止してください。

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜いて、必ずお求めの販売店もしくはお客様相談窓口にて点検・修理をご相談ください。ご自身での修理は大変危険ですので、絶対に行わないでください

お客様相談窓口

問い合わせ info@smeg.email

問い合わせ可能時間 9:00~17:00（土・日・祝日・弊社休業日を除く）

輸入総販売元 テクタイト 株式会社

<https://smeg.jp>



TECHTUIT CO. LTD.

www.smeg.jp

